

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月2日

上場会社名 株式会社あみやき亭 上場取引所 東 名
コード番号 2753 URL http://www.amiyakitei.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 佐藤 啓介
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部本部長 (氏名) 千々和 康 TEL 0568-32-8800
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年12月16日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	17,584	10.0	1,348	42.5	1,383	41.7	819	52.9
2024年3月期中間期	15,990	17.2	946	—	976	449.3	536	—

（注）包括利益 2025年3月期中間期 819百万円（52.9％） 2024年3月期中間期 536百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	39.90	—
2024年3月期中間期	26.09	—

（注）当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり中間純利益」を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	27,015	—	21,372	—	21,372	79.1
2024年3月期	27,236	—	20,894	—	20,894	76.7

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 21,372百万円 2024年3月期 20,894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	40.00	—	50.00	90.00
2025年3月期	—	51.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	17.00	68.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期及び2025年3月期第2四半期末につきましては、当該株式分割前の配当金の額を記載しております。2025年3月期（予想）の期末配当金及び年間配当金につきましては、当該株式分割を考慮した配当金の額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2025年3月期（予想）の期末配当金は51円、年間配当金は102円であります。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,400	12.4	2,720	22.4	2,800	21.1	1,650	26.2	80.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割の影響を考慮しております。当該株式分割の影響を考慮しない2025年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、240円94銭であります。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	20,546,400株	2024年3月期	20,546,400株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	1,530株	2024年3月期	1,443株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	20,544,870株	2024年3月期中間期	20,544,957株

※当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当中間期の経営成績の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2024年4月1日~2024年9月30日)における我が国経済は、社会活動の正常化がすすみ、雇用・所得環境が改善するなかで、高水準の企業業績に支えられ景気は緩やかな回復基調続いています。一方で、主要各国の金融政策、国際金融資本市場の動向、地政学的リスクの高まり等、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

外食産業におきましては、インバウンド需要は引き続き堅調にあるものの、消費者マインドは、改善に足踏みがみられ、物価高騰懸念の中で節約志向の高まりから、値ごろ感のある商品を求める消費者が増加傾向にあります。また、エネルギー価格の上昇、人手不足による人件費の上昇、原材料費の高騰などは継続しており、依然として厳しい環境にあります。

このような事業環境の中、当社グループは、構造改革のもと、業績好調な「感動の肉と米」の新規出店に加え業態変更など店舗拡大等により収益基盤の一層の強化をすすめるとともに、さらなるコストダウンとサービス向上にむけ各種施策を実施しました。

主力の焼肉事業では和牛一頭買いを活用し、高品質な和牛牛肉の確保とお客様の高まる赤身志向にお応えするための商品ラインナップの拡充を実施するとともに、和牛一頭買いによる仕入の効率化により、お客様にご納得いただけるお値打ち価格でご提供しております。併せて、肉のプロによるカット技術により、脂の乗った部位から赤身のヘルシーな部位まで一貫して加工することによるコストダウンを実現いたしました。

また、お客様に常に新しい体験を提供すべく2か月毎のフェア(韓国フェア、和牛祭、ホルモン祭など)を開催し、季節毎の特別メニューをお楽しみいただける機会のご提供や料理の質を高めるため、お肉に合う「ライス」、「ビール」の味の徹底追及に拘るなど、さらなる磨き込みを行ってまいりました。

さらには、店舗の運営における省人化と迅速なサービスの提供のため自動案内機の導入試行により効率化をすすめ、また、新たにオープンキッチン方式にリニューアルした新型店舗導入により、明るく開放感のある空間で、臨場感あふれる体験を通してお客様に食事を楽しんでいただける魅力ある店舗作りを行っております。

引き続き「事業ポートフォリオ」の最適化を見据えた不採算店舗の業態変更などによる収益力改善など成長拡大のための競争力強化策の取り組みを進めてまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高17,584百万円(前年同期比10.0%増)、営業利益1,348百万円(前年同期比42.5%増)、経常利益1,383百万円(前年同期比41.7%増)、親会社株主に帰属する中間純利益819百万円(前年同期比52.9%増)となりました。

<焼肉事業>

焼肉事業の当中間連結会計期間末の店舗数は、165店舗であります。

内訳は、「あみやき亭」88店舗、「あみやき亭PLUS」7店舗、「どんどん」11店舗、「ほるとん屋」13店舗、「スエヒロ館」21店舗、「かるび家」1店舗、「ブラックホール」4店舗、「ホルモン青木」7店舗、「ホルモンセンター」他12店舗、「百名山」1店舗であります。

以上の結果、焼肉事業の当中間連結会計期間の売上高は、11,340百万円(前年同期比2.8%増)となりました。

<焼鳥事業>

焼鳥事業の当中間連結会計期間末の店舗数は、51店舗であります。

内訳は、「美濃路」37店舗、「みの路」5店舗、「もつしげ」9店舗であります。

以上の結果、焼鳥事業の当中間連結会計期間の売上高は、1,869百万円(前年同期比17.9%増)となりました。

<レストラン事業>

レストラン事業の当中間連結会計期間末の店舗数は、51店舗であります。

内訳は、「感動の肉と米」37店舗、レストラン「スエヒロ館」14店舗であります。

以上の結果、レストラン事業の当中間連結会計期間の売上高は3,603百万円(前年同期比34.7%増)となりました。

<その他の事業>

その他事業の当中間連結会計期間末の店舗数は、13店舗であります。

内訳は、精肉小売店「お肉の工場直売市」1店舗、和牛しゃぶしゃぶ・ステーキ「喜楽」1店舗、しゃぶしゃぶ店「しゃぶ亭ふふふ」2店舗、居酒屋「楽市」2店舗、寿司業態の「すしまみれ」2店舗、ダイニング1店舗、「とりとん」他4店舗であります。

以上の結果、その他の事業の当中間連結会計期間の売上高は769百万円(前年同期比11.1%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産額は、27,015百万円となり、前連結会計年度末と比較し、220百万円減少しました。主な要因は現金及び預金の減少によるものです。

負債総額は、5,642百万円となり、前連結会計年度末と比較し、698百万円減少しました。主な要因は買掛金の減少によるものです。

純資産額は、21,372百万円となり、前連結会計年度末と比較し、477百万円増加しました。主な要因は利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2024年4月2日の「2024年3月期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,677	8,978
預け金	300	288
売掛金	12	13
商品及び製品	98	95
原材料及び貯蔵品	1,402	1,136
未収入金	975	916
その他	273	359
流動資産合計	12,740	11,789
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,030	4,752
構築物(純額)	232	261
機械及び装置(純額)	290	321
車両運搬具(純額)	7	6
工具、器具及び備品(純額)	319	304
土地	2,882	3,009
建設仮勘定	42	11
有形固定資産合計	7,805	8,668
無形固定資産		
ソフトウェア	13	13
のれん	2,309	2,208
その他	10	10
無形固定資産合計	2,332	2,232
投資その他の資産		
長期貸付金	493	513
繰延税金資産	1,356	1,242
差入保証金	1,521	1,469
投資不動産	293	292
その他	692	807
投資その他の資産合計	4,357	4,324
固定資産合計	14,496	15,225
資産合計	27,236	27,015

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,406	1,035
短期借入金	300	300
1年内返済予定の長期借入金	125	112
1年内償還予定の社債	45	30
未払金及び未払費用	1,459	1,337
未払法人税等	715	454
契約負債	111	120
賞与引当金	135	139
株主優待引当金	9	22
その他	803	548
流動負債合計	5,110	4,100
固定負債		
社債	30	15
長期借入金	375	331
リース債務	241	622
退職給付に係る負債	8	7
資産除去債務	506	494
その他	69	70
固定負債合計	1,231	1,542
負債合計	6,341	5,642
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,426	2,426
利益剰余金	15,996	16,473
自己株式	△1	△2
株主資本合計	20,894	21,372
新株予約権	—	0
純資産合計	20,894	21,372
負債純資産合計	27,236	27,015

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	15,990	17,584
売上原価	6,197	6,708
売上総利益	9,793	10,876
販売費及び一般管理費	8,846	9,527
営業利益	946	1,348
営業外収益		
受取利息	1	5
受取賃貸料	17	17
協賛金収入	5	8
その他	7	8
営業外収益合計	32	40
営業外費用		
支払利息	0	2
匿名組合投資損失	1	1
不動産賃貸費用	1	1
営業外費用合計	3	5
経常利益	976	1,383
特別利益		
固定資産売却益	1	0
受取保険金	0	8
特別利益合計	1	8
特別損失		
固定資産除却損	8	28
減損損失	101	40
その他	3	1
特別損失合計	112	70
税金等調整前中間純利益	865	1,321
法人税、住民税及び事業税	307	387
法人税等調整額	20	113
法人税等合計	328	501
中間純利益	536	819
親会社株主に帰属する中間純利益	536	819

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	536	819
中間包括利益	536	819
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	536	819

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更

当社は、2024年5月20日開催の取締役会決議に基づき、2024年10月1日付で株式分割を行い、当該株式分割に伴う定款の一部変更を行っております。

1. 株式分割

(1) 株式分割の目的

株式分割を行い、当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整えるとともに、当社株式の流動性の向上と投資家層のさらなる拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

①分割の方法

2024年9月30日を基準日として、同日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有する当社普通株式を、1株につき3株の割合をもって分割いたしました。

②分割により増加した株式数

株式分割前の発行済株式総数	6,848,800株
今回の分割により増加した株式数	13,697,600株
株式分割後の発行済株式総数	20,546,400株
株式分割後の発行可能株式総数	43,200,000株

③日程

基準日公告日	2024年9月14日
基準日	2024年9月30日
効力発生日	2024年10月1日

(3) 1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響につきましては、サマリー情報の「1株当たり中間純利益」に記載しております。

(4) その他

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

2. 株式分割に伴う定款の一部変更

(1) 変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2024年10月1日付で当社定款の一部を変更いたしました。

(2) 定款変更の内容

変更の内容は以下のとおりであります。

(下線は変更部分を示します。)

変 更 前	変 更 後
第1条～第5条 (条文省略) (発行可能株式総数)	第1条～第5条 (現行どおり) (発行可能株式総数)
第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>14,400,000</u> 株とする。	第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>43,200,000</u> 株とする。
第7条～第39条 (条文省略)	第7条～第39条 (現行どおり)

(3) 日程

取締役会決議日 2024年5月20日

効力発生日 2024年10月1日